

第2回市長と語る！ふれあいミーティング（飯能市PR大使座談会）会議録

1 日 時 令和8年8月3日（月）10時30分～11時15分

2 場 所 飯能市役所本庁舎3階 市長室

3 参加者 飯能市PR大使2名（稲垣伸一氏、関雅樹氏）、市役所職員8名（市長、副市長、ほか関係部署職員）

4 ミーティング内容

市長から

本日は「飯能市PR大使座談会」にご参加いただき、ありがとうございます。

今回のPR大使の皆様との対話を市長ふれあいミーティングとして位置付け、様々なご意見を頂戴できればと思っております。

飯能市PR大使には、本市にゆかりのある方を委嘱し、自然、歴史、文化、観光、特産品等の魅力を独自の目線で広く発信していただくことで、若い世代や、飯能に縁のなかった層へ情報を届け、市の知名度の向上とイメージアップを通じた、地域の活性化を期待しているところでございます。

飯能市の魅力を発信するシティプロモーションは、飯能市の総合振興計画でも重要な施策として位置付けられています。

今回PR大使となりました皆様から、飯能市の魅力や今後の取り組むべきアイデア、どう発信していくべきかなど、忌憚のないご意見を頂戴できればと思っております。是非、率直なご意見、アイデアをいただき、飯能市が選ばれるまちとなるヒントをいただけるようご支援いただければと思います。

飯能市に生まれ、育った中での一番の思い出について

稲垣さん

○原市場で育った。小学校の時に行っていた「飯能まつり」が一番記憶に残っている。昔は今よりも露店が多く活気が多くあったように感じる。商店街でもよく遊んでいた覚えがあり、当時の雰囲気が頭の中に残っている。

関さん

○矢嵐で育ったので、美杉台が街びらきした時の印象が残っている。高校生の頃に飯能大橋が開通した。橋を渡って美杉台に上がっていくところは街びらき前は山だったので、そこでこどもの頃によく遊んでいた思い出が残っている。

飯能市の魅力と考えていること、飯能市でのお薦めのポイント、広く知ってもらいたいことについて

稲垣さん

○西川材が有名で、自然が一番の魅力だと考えている。原市場、名栗、吾野などの自然をうまくPRできないかと思っている。

もうひとつは、商店街を盛り上げていくことを考えている。

関さん

○稲垣さんと同じで自然が一番の魅力だと考えている。飯能には池袋から特急で約40分で来ることができ、それほど遠くない。飯能のまちなかから車で少し走ればホテルがみることができるほど自然が豊か。先日、都内に住む友達を連れ、名栗へホテルを見に行ったら大変喜ばれた。飯能は遠いというイメージを持っている人が多いと思うので、実はアクセスが良く都心からも遠くないということをアピールできればと思っている。

○飯能には市外の方に持っていくと大変喜ばれる銘菓や特産品などがあるので、そういったお店などをまとめたものをPRするのが効果的ではないか。

飯能市の魅力を知ってもらうのに必要なこと、方法、PR大使としての役割について

関さん

○「飯能は実は都心からも近いんですよ」といったPRが必要だと思う。

先ほど話した友人は「こんなに近くでホテルが見れるのか」と感動していた。PRの手段としてはTikTokなどショート動画を使ったPR方法があると思う。

○飯能在住であるという強みを活かして、責任を持って活動したい。

稲垣さん

○関さんと同意見で、TikTokのショート動画などを通じ、飯能を知ってもらうということが大事なことだと思う。あとは、まちなかの活性化に貢献したい。良いイベント、行ってみたいと思えるようなイベントを作っていくことが必要かと思う。例えば商店街で音楽ではなくてもフェスを開催し、多くの人に来ていただき、その動画などがSNSを通じ更に多くの人に拡散されれば飯能を知っていただけたらと思う。

また、飯能は面積も広く各地に魅力がある。一つのところだけでなく全体でまとまるようなこともやっていけたら良いと思うので、市内の全部を回って、一つ一つイベントを作っていきたいと考えている。

飯能市に賑わいを持たせるためのアイデアについて

稲垣さん

○いろいろなところから人が来てもらえるようなフェスを作りたいと考えている。1年では難しいと思うので、数年スパンで飯能で人が集まれる場所を探して、その場所に知り合いのプロのミュージシャンなどに来てもらって飯能を認知してもらえるようにしたい。そういった取組を市の広報でも取り上げてもらってたくさんの人に認知してもらい、飯能に外部の人がたくさん来てもらえるようにしたい。

○飯能市のSNS公式アカウントを利用した情報発信が効果的だと思う。

関さん

○飯能は様々なイベントを行っているが、周知に工夫が必要だと思う。実際に良いイベントを行っているのにうまく周知できていないのは残念に感じる。

（副市長）→市の広報やホームページで発信する情報はできる限り多くの人にとって、わかりやすいユニバーサルデザインの考え方にに基づき作成しているので、目立ちにくい部分があると思います。そのようなイベントの情報をPR大使を通じ、市役所にはできない表現で発信していただけると大変ありがたいです。

○コロナを機に飯能に移住してきたイベント関係の仕事をしている方から、「何か一緒にやりませんか」と話をいただくことがあった。在宅ワークが広がり、飯能にもいろいろな関係者が潜在的にいらっしゃるのだと思う。

飯能市の変わってほしくないこと、変えてほしいことについて

関さん

○変わってほしくないものは、この飯能市の豊かな自然。ホテルが見れるような自然環境はこれからも守っていかなくてはいけない。

○個人的な意見になってしまうが、飯能には少し閉鎖的なイメージがあるのでオープンになるよう変わってほしい。

稲垣さん

○私も関さんと同意見で、変わってほしくないものは、飯能市の豊かな自然で、これからも残してほしい。

○私も飯能の閉鎖的なところがオープンに変わってほしいと思っている。

○飯能駅から降りた人が「活気のあるまち」だなと感じてもらえるようなまちになってほしい。飯能には飲食店が多く、飲み屋のまちというイメージがあり、そういった魅力があると思う。

○飯能には音楽をやっている方も多いので、音楽文化など、文化を推していただけると活動しやすい。

PR大使としての意気込みについて

関さん

○自分の知名度が上がれば飯能市が更に注目されると思う。PR大使としてしっかりと活動するのは当たり前だと思っているが、自分の仕事を頑張ることで知名度を上げ、飯能市に貢献したい。

稲垣さん

○関さんと同様、自分の仕事を頑張ることで知名度を上げ、飯能市に貢献したい。

○飯能市に1万人呼べるような音楽フェスを行いたいので、それに向けてしっかりと頑張っていきたい。

副市長から

○本日はお忙しい中、ご参加いただきましてありがとうございました。お二人には期待をさせていただいております。これからもお二人がそれぞれの場所で更にご活躍いただくことが、飯能市のPRにもつながっていくものと思っておりますので、ぜひそれぞれの活動に注力していただきながら、その活動を通じ飯能市をPRしていただければと思います。本日はありがとうございました。

市長から

○本日はお忙しい中、ご参加いただきましてありがとうございました。短時間ではありましたが、大変参考となる意見を多数いただきました。飯能市には秘められた可能性があるというご意見もありました。その部分をPR大使として情報発信していただければと思いますので、よろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。